

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道吉田豊栄線（東広島高田道路）道路改良事業に伴う業務委託（その3）

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B-No. 2		調査位置	広島県安芸高田市向原町戸島 地内				北緯	34° 37' 58.07"					
発注機関	広島県 西部建設事務所			調査期間	令和 5年 11月 6日 ~ 5年 11月 9日			東経	132° 42' 18.92"					
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	246.18m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 0°	使用機種	試錐機	東邦地下工機 D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	10.00m	度	0°	向	0°			エンジン	ヤンマー NFD-9		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C		

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 (月日)	掘進 (月日)
									深 (m)	10cm ごと	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
245.58	0.60	埋土・礫質土	灰	淡褐色	中位		φ40mm以下の角礫状の砕石。	11/7 0.50	1.15	6	5	5	16/30				11/6
243.98	1.60	粘土混じり砂礫	淡褐色	軟かい	中位		礫はφ2~25mm程度の角礫を主体とし、隙間充填物は火山灰質の砂質粘土~粘土質砂である。礫含有量の差異が著しく、所々で礫混じり砂質粘土~礫混じり粘土質砂状を呈する。	1.45	2.15	1	1	1	3/30				
243.53	0.45	砂質粘土	淡褐色	軟かい	中位		非常に粘性に富んでいる。	2.45	2.45	2	4	4	10/30				
242.88	0.65	粘土質砂	淡褐色	中位			部分的に砂質粘土状を呈し、不均質である。	3.15	3.15	2	4	4	10/30				
242.58	0.30	砂質シルト	黒灰				木片を混入する。	3.45	3.45	6	8	20	34/30				
241.43	1.15	粘土質砂	淡褐色	中位			φ15mm以下の角礫を混入する。火山灰質で、やや凝縮状を呈する。	4.15	4.15	50/7			50/7				
240.98	0.45	強風化流紋岩	淡黄褐色				流紋岩の強風化帯で、著しく軟弱な砂礫状を呈する。	5.13	5.20	50/9			50/9				
		風化流紋岩	黄褐色				亀裂等の割れ目の発達著しく、局部的に軟質化した片状コアが見られるが、概ね礫状コアを主体に採取される。岩級区分はDH級に区分される。	6.15	6.24	50/8			50/8				
		流紋岩	褐色				GL-7.20m以深は、掘進時において採取コアの落下によってコア状態が細礫状を呈する。	7.18	8.00	貫入不能			50/0				
238.18	2.80	8.00					亀裂の発達著しく、礫~片状コアにて採取され、岩片はやや軟質化している。割れ目に沿って砂礫~細礫状を呈する。岩級区分はCL級に区分される。	8.00	9.00	貫入不能			50/0				
236.18	2.00	10.00						10.00	10.00	貫入不能			50/0				